



## 図書館の近況トピックス

### 学術資料の維持・整備

図書館で購入、契約している学術資料（図書、雑誌、電子ジャーナル等）の価格は年々高騰しており、特に外国雑誌の価格（原価）は毎年約5%以上の値上げがされています。本学にとって必要な雑誌タイトルについても購読を中止せざるを得ない事態が続いており、10年間で約1億円に相当する雑誌タイトルが削減されました。さらに昨今の円安をうけて、状況はますます厳しいものとなっています。

本学が目標としている、教員による研究業績の向上、若手研究者向けの研究体制の拡充および国際業績を重視した研究集団の強化、学生の学修環境向上を実現するためには、これら外国雑誌を核とした学術資料を、質・量の双方において充実したものとすることが必要です。現在、学内の予算配分の見直しを含めた検討を全学的に進めていますが、並行して、財源の充実・維持が不可欠な状況となっています。



あれ？研究に必要な学術資料が  
学内で利用できなくなっ  
てしまっているぞ、困ったな…

### 貴重書の保存修復及び デジタル化

本学は、社会科学の研究総合大学として社会科学分野の貴重な和漢・西洋古典籍を多数所蔵しています。特に社会科学古典資料センターは、西洋古典資料の一大コレクションを構築するとともに、1995年には大学では他に例がない貴重書保存修復工房を開設し、メンガー文庫等の保存修復を順次実施してきました。また、近年ではデジタル化した資料をインターネット上で公開することで人文社会科学の研究基盤を強化し、国内外の利用者への貢献を図っています。しかしながら、保存修復及びデジタル化が完了した資料は、残念ながらまだまだ所蔵資料の中のごく一部にすぎません。また、保存修復のためのスタッフの後継育成も急務となっています。

JSTORで貴重資料のデジタル画像公開を開始しました

社会科学古典資料センターでは、一橋大学の有する教育研究資源をより広く国内外の研究者・研究機関に供給し、人文社会科学の発展に資することを目的に、世界的にも貴重な西洋古典資料のデジタル画像をJSTOR Shared Collectionsで公開するサービスを開始しました。

[JSTOR Shared Collections 一橋大学のページ](#)



学術情報流通プラットフォームJSTORでの貴重書画像公開



劣化状態調査・保存カルテ作成の研修



劣化状態調査



中性紙製保存箱の製作



外注での虫喰い本の補修



(左)補修前 (右)補修後

# 魅力ある施設の整備

2024年8月3日～5日の3日間、本学でオープンキャンパスが開催され、図書館も大勢の方々に見学にお越しいだきました。その際に、当館の建物や雰囲気についてご評価いただいた声をご紹介します。

(「一橋大学オープンキャンパス2024」事後アンケート回答より抜粋)

落ち着いた雰囲気の中で集中できそうよかった。素晴らしい建物だと思った。

こんなに素晴らしい図書館で勉強できる一橋の学生さんが羨ましいと思いました。2年後、この図書館で勉強したいと思いました。

ただただ美しくて荘厳で驚いた。保存することに熱意が感じられたが、皆が自由に使わせてもらえていることにも驚いた。

あのオシャレなステンドグラス自習室みたいなのに強く惹かれました。あそこの自習室を入学してぜひ使ってみたいです

非常に広く、学生の学びをサポートする施設となっており、また、閲覧席の多さに大変驚きました。

図書館の建物や施設が、学生にとって大変魅力のあるものであることが実感できます。

このように高い評価をいただいている図書館ですが、実は、もう少しつぶさにご覧いただくとあちこちで老朽化が進んでいることがわかります。雨漏りが発生している箇所や、壁や壁紙の剥落など美観を損ねる箇所が少なからずあるのです。最近では、閲覧機の幕板が外れて落下したり、閲覧機のコンセントが接触不良で発火した例もありました。また、蔵書の増加により書架の狭隘化も進んでおり、より収容力を高めるべく書庫の改修等の大規模な対策も期待されています。



近年では、学生の学修・研究活動が大きく多様化しています。デジタル時代に必要なアカデミックスキルの向上を図ることができる施設として、既存のグループ学習室の改修はもちろん、アクティブ・ラーニングスペースの充実、個人用個室の設置、情報システム利用環境の整備、静粛エリアの防音化などの拡充が求められています。

## ご支援のお願い

本学は、2025(令和7)年に創立150周年を迎えるにあたり、現在、記念募金事業を展開しております。用途を図書館の機能強化に特定してご寄付いただくことも可能となっておりますので、日頃からBELLを愛読し、附属図書館に思いを寄せてくださっている皆様には力強いご支援を賜りますよう、ご案内いたしますとともにお願い申し上げます。

\*お問合せは下記までお願いいたします。

【附属図書館機能強化プロジェクトについて】  
学術情報課 Email: lib-dm@ad.hit-u.ac.jp

【ご寄付申込み、手続きに関する詳細について】  
一橋大学基金事務局 Email: kikin@ad.hit-u.ac.jp

一橋大学基金ウェブサイトのお申込みフォームより、必要事項をご入力の上、お申込みください。

附属図書館機能強化プロジェクトへの支援  
(創立150周年記念募金)

<https://www.form.kikin.ad.hit-u.ac.jp/hit-u/entry.php?purposeCode=310000>

